

## 平成 22 年度 河川レンジャー活動経過報告

平成 22 年 10 月

枚方管内河川レンジャー

上田 豪  
立川 亨一  
荘司 弘之  
瀬野 卓男  
山口 進

## 目次(概要)

1. 上田レンジャー活動実施報告	1P
2. 立川レンジャー活動実施報告	34P
3. 荘司レンジャー活動実施報告	44P
4. 瀬野レンジャー活動実施報告	49P
5. 山口レンジャー活動実施報告	64P
6. 河川レンジャー研修実施報告	77P

## 目次(詳細)

1. 上田レンジャー・拠点作りのための維持管理	・平成 22 年 4 月 17 日(土) . . . . . 1
2. 上田レンジャー・水辺の発信拠点づくりパートⅣ	・平成 22 年 5 月 1 日(土) . . . . . 5
3. 上田レンジャー・寝屋川クリーンリバー学生講演会	・平成 22 年 5 月 23 日(日) . . . . . 7
4. 上田レンジャー・点野刈り払い	・平成 22 年 5 月 27 日(木) . . . . . 9
5. 上田レンジャー・水辺の発信拠点づくり(点野ワンド)	・平成 22 年 6 月 12 日(土) . . . . . 13
6. 上田レンジャー・フィールドづくり	・平成 22 年 6 月 20 日～(8 回) . . . . . 17
7. 上田レンジャー・淀川まるごと体験会	・平成 22 年 7 月 25 日(日) . . . . . 19
8. 上田レンジャー・水辺の発信拠点づくりパートⅣ	・平成 22 年 9 月 11 日(土) . . . . . 24
9. 立川レンジャー・点野わんど外来植物除去	・平成 22 年 6 月 19 日(土) . . . . . 28
10. 立川レンジャー・点野野草地区・砂州植生観察会	・平成 22 年 9 月 26 日(日) . . . . . 39
11. 荘司レンジャー・自然観察会と樟葉ワンド見学	・平成 22 年 5 月 30 日(日) . . . . . 44
12. 瀬野レンジャー・淀川舟運見学会	・平成 22 年 4 月 8 日(木) . . . . . 49
13. 瀬野レンジャー・くずはワンドの見学会	・平成 22 年 6 月 7 日(月) . . . . . 55
14. 瀬野レンジャー・牧野ワンドの自然観察会	・平成 22 年 9 月 13 日(月) . . . . . 60
15. 山口レンジャー・庭窪ワンド清掃活動	・平成 22 年 4 月 24 日(土) . . . . . 64
16. 山口レンジャー・庭窪ワンド外来種植物除去作業	・平成 22 年 6 月 19 日(土) . . . . . 68
17. 山口レンジャー・庭窪ワンド生物調査&周辺清掃	・平成 22 年 9 月 11 日(土) . . . . . 72
18. 酒井・辻川・上田レンジャー・河川行政研修会	・平成 22 年 7 月 12 日(月) . . . . . 77
19. 仁枝・谷岡・中島レンジャー・外来生物研修会	・平成 22 年 9 月 7 日(火) . . . . . 81

# 1. 上田レンジャー・拠点作りのための維持管理・平成 22 年 4 月 17 日(土)

## 1.1 実施状況

<テーマ:>水辺の発信拠点づくり

テーマ	拠点作りのための維持管理		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー	上田レンジャー
開催日時	平成 22 年 4 月 17 日(土) 9:00~11:30		
参加人数	参加総数	11 名	
	応募参加者	7 名	オール電算協同組合研修生 (内 1 名通訳)
	河川レンジャー	1 名	上田レンジャー
	協力スタッフ	2 名	ねや川水辺クラブ
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30	点野流域センター集合	
	9:35	点野ワンドに移動	
	9:40	上田レンジャー挨拶	
	9:45	草刈り期の使用上の説明 草刈りの実演	
	10:00	作業開始 (チガヤ実験地の草刈り)	
	11:15	作業終了	
	11:30	点野流域センターへ移動・解散	
実施場所	<p style="text-align: center;">淀川河川敷点野ワンド</p> 		

## 1.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	ねや川水辺クラブ（寝屋川市 ボランティア車両、刈払機 5 台）
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年 3 月に植えつけたチガヤ実験地（4 箇所）周辺（1 メートル）の除草</li><li>・ポット苗植え付け区画の草刈（チガヤ共）</li><li>・砂州全般のセイヨウカラシナの引き抜き これまでの成果が表れて、今年は砂州全般で 15 株くらいの発芽・開花にとどまった</li><li>・ネズミムギの丈の長い部分の刈払い 埋没種子の発芽促進のため</li></ul>

### 1.3 活動状況



作業地全景



上田レンジャーの挨拶



上田レンジャーによる草刈り機の説明



上田レンジャーによる草刈り実技



体験の様子



試験地草刈り方法の検討



草刈り体験風景



「チガヤ」試験地草刈り風景



「チガヤ」試験地草刈り風景



「チガヤ」試験地草刈り風景



「チガヤ」試験地看板

#### 1.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし



## 2. 上田レンジャー・水辺の発信拠点づくりパートⅣ・平成22年5月1日(土)

### 2.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	子どもが安全に遊び、学べる水辺の発信拠点づくりパートⅣ		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー上田レンジャー	
開催日時	平成22年5月1日(土) 9:00~12:30		
参加人数	参加総数	4名	
	一般参加者 河川レンジャー	3名 1名	ねやがわ水辺クラブ
スケジュール	9:00	刈り払い作業	
	12:30	作業終了	
実施場所			

### 2.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	ネズミムギ、イヌムギ、ナガバギシギシ、セイタカアワダチソウなど前回4月17日の刈り残し部分の除去(カラスノエンドウも一部刈り取り)セリ、カキドオシ、ヘビイチゴ、イラクサ、など在来種が優先する場所では、ムギ類やナガバギシギシなどを選択して刈り取った。



### 2.3 活動状況



刈り払い作業その1



刈り払い作業その2

### 2.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	ネズミムギの刈り取りを始めて以降、毎年在来種などの量が増えているようだ。

### 3. 上田レンジャー・寝屋川クリーンリバー学生講演会・平成 22 年 5 月 23 日(日)

#### 3.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	寝屋川クリーンリバー作戦に伴う学生講演会		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー上田レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 23 日 (日) 11:00~13:30		
参加人数	参加総数	50 名	
	学生参加者	50 名	摂南大学理工学部生命科学科新入生、ゼミ生、エコシビル部員系
	河川レンジャー	1 名	
講師	上田氏	(河川レンジャー)	
スケジュール	11:00	生命科学科講演あいさつ	
	13:30	生命科学科講演終了	
実施場所 寝屋川市産業振興センター			

#### 3.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	会場提供：寝屋川市産業振興センター
レンジャーの活動内容	クリーンリバー作戦.(中止)に参加予定だった学生を対象に、学生・市民が官の管理である川の清掃活動(市民活動)に参加することの意義とその在り方について、これまでの寝屋川市における寝屋川再生ワークショップやねや川水辺クラブなどの川づくり・まちづくりの市民活動の取り組みの事例から説明。

### 3.3 活動状況



生命科学科講演あいさつ



生命科学科講演

### 3.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

#### 4. 上田レンジャー・点野刈り払い・平成 22 年 5 月 27 日(木)

##### 4.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	点野刈り払い		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー上田レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 27 日 (木) 9:00~13:00		
参加人数	参加総数	3 名	
	一般参加者		名
	河川レンジャー		1 名
	スタッフ		2 名
	運営事務局		名
スケジュール	刈り払い前 NO 1 刈り払い後 NO 1 刈り払い前上流から NO2 刈り払い後上流から NO2 放置区画上流から NO3 刈り払い前上流から NO4 刈り払い後上流から NO4 チガヤマツト生育状況 ポット苗生育状況		
実施場所			

## 4.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈られたチガヤ(マット、ポット苗)が他の草より成長速度が速ければ、堤防管理などに活用可となりその効果を確かめる。</li> <li>・N01, 2, 4 ポイントの刈払い、N03 ポイントは放置箇所とする。</li> <li>・マット区、苗区(種子未散布区間含む)の植生種調査(優先種)。</li> <li>・実験ポイント以外の「発信拠点づくり対象区間」の外来種刈払い ネズミムギ、ナガバギシギシ、イヌムギを中心に刈払い機による除去</li> </ul> <p>N01        マット区 チガヤ成長悪し        競合優先種ヨモギ、        その他ナガバギシギシ、アキノノゲシ、カタバミ        ポット苗区 種子散布予定区 大半はダメか?        優先種イヌムギ 40%、ヨモギ 30%、カキドオシ 30%        その他ヘビイチゴ、キツネノボタン、</p> <p>N02        マット区 チガヤ根付き        競合優先種コセンダングサ、カキドオシ、        他にカモジグサ、アレチウリ        ポット苗区 種子散布予定区(チガヤの成長悪く芽だし診るとのこと)、        優先種ネズミムギ(60%)カキドオシ(30%)        他に、アキノノゲシ、アレチウリ、</p> <p>N03        マット区チガヤ根付き、        競合優先種カナムグラ、        他にムラサキカタバミ、マツバウンラン        ポット苗区、種子散布予定区、ポット苗の芽だし株あり        優先種 コセンダングサ、ネズミホソムギ、チドメグサ、        他に シロザ、ヨモギ、ヘビイチゴ、セリ、イシミカワ</p> <p>N04 5月23日(日)冠水        マット区チガヤ根付き        競合優先種ヨモギ、他にイヌビユ、ナンバンカラムシ、セリ、イシミカワなど        ポット苗区、種子散布予定区        セイタカアワダチソウ、アレチウリ、ヨシ、ヤマキスゲ、セイヨウカラムシ、オオスズメノカタビラ</p>



### 4.3 活動状況



刈り払い前 NO 1



刈り払い後 NO 1



刈り払い前上流から N02



刈り払い後上流から N02



放置区画上流から N03



刈り払い前上流から N04



刈り払い後上流から N04





チガヤマツト生育状況



ポット苗生育状況

#### 4.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

## 5. 上田レンジャー・水辺の発信拠点づくり（点野ワンド）・平成22年6月12日（土）

### 5.1 実施状況

<テーマ：>子供が安全に遊び学べる水辺の発信拠点づくり

テーマ	水辺の発信拠点づくり（点野ワンド）		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー	上田レンジャー
開催日時	平成22年6月12日（土）8：45～11：30		
参加人数	参加総数	38名	
	応募参加者	31名	中国・ベトナム研修生・引率2名
	河川レンジャー	1名	上田レンジャー
	協力スタッフ	5名	寝屋川水辺クラブ（摂大学生1名）
	運営事務局	1名	
スケジュール	8:45	点野流域センター集合	
	9:20	点野ワンドで中国・ベトナム研修生集合	
	9:25	準備	
	9:30	上田レンジャー挨拶・作業開始	
	10:30	休憩	
	10:40	作業再開	
	11:10	終了	
	11:15	集合写真	
	11:30	解散	
実施場所	<p>（場所） 淀川左岸点野ワンド</p> 		

## 5.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	特になし
レンジャーの活動内容	<p>1、チガヤ植え付け実験との調査(写真、生育状況調査) 5月27日に全面刈取りしたN01, 2, 4ともマット区画は生育良好で、同時に刈取った他の草より生育状況は優先している。 無刈取りのN03のマット区画も順調で他の草と競争し生育している。 ただし、他の草の方が体高が幾分高い。</p> <p>2、外来種(ネズミムギなど)の刈払機による砂州の草刈り、鎌による草刈り、草抜きなど。</p>

### 5.3 活動状況



上田レンジャーより挨拶(1)



上田レンジャーより挨拶(2)



上田レンジャーより挨拶(3)



作業開始前の注意事項に聞き入る研修生



草刈風景(1)



草刈風景(2)



草刈風景(3)



ちょっと一服





作業終了後の集合写真



カワニナの種類



イシガイの確認

#### 5.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>特になし</p>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に比べて在来種が増えている。ネズミムギの群落は相変わらずだがその密度が低くなり、以前のような隙間無く生えるということはなくなって、集団と集団の間に、他の群落が新しく見受けられる(カキドオシがもっとも多い)。</li> <li>・言葉が通じない外国人研修生が復元した在来種の群落を刈ってしまった。スタッフの配置に留意したい。</li> </ul>

## 6. 上田レンジャー・フィールドづくり・平成 22 年 6 月 20 日～(8 回実施)

### 6.1 実施状況

＜テーマ：子どもが安全に遊び、学べる水辺の発信拠点づくり パート4＞

テーマ	こどもたちを中心に大人も含めて淀川を知ってもらう学習拠点となるフィールドづくり（淀川と人とのかかわり・淀川の自然・川の楽しさ）				
担当	枚方管内		河川レンジャー	上田レンジャー	
日時	6月20日(日) 11:00～13:00	7月9日(金) 9:00～12:30	7月10日(土) 13:00～15:30	7月11日(日) 9:00～12:00	7月17日(土) 9:00～16:30
参加人数	2名	4名	2名	6名	12名
	レンジャー1名 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 1名	レンジャー 1名 摂南大学3名	レンジャー1名 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 1名	レンジャー1名 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 2名 摂南大学2名 養成講座受講生 1名	レンジャー1名 一般参加者11名 (一般午後9名)
日時	7月18日(日) 9:00～16:30	7月24日(土) 9:00～17:00	8月21日(土) 13:00～17:00		
参加人数	7名	19名	36人		
	レンジャー1名 一般6名 (海外研修生)	レンジャー1名 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ他) 9名 摂南大学9名	レンジャー1名 シニア自然大学 および摂南大学 35名		
スケジュール	<p>標準スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現地集合           <ul style="list-style-type: none"> <li>外来種の除去（引き抜き作業、鎌、機材による刈り取り）</li> <li>河川清掃</li> <li>ごみ清掃</li> <li>刈り草の集積</li> <li>現地調査</li> <li>集積の場合は、当日または後日撤去（ごみも同様）</li> </ul> </li> <li>●作業終了・機材の手入れ</li> <li>●スタッフ解散</li> </ul>				
活動場所	 <p>活動場所：点野わんどと点野船着場間の砂州</p>				



## 6.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寝屋川市 <ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り機の貸与</li> <li>ボランティア車両の提供</li> <li>パッカー車の提供、可燃ごみの処理、胴長・長靴の提供</li> </ul> </li> <li>○ねや川水辺クラブ <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ参加</li> <li>草刈り機、鎌の貸与、ノコギリの貸与、刈払機燃料の提供</li> <li>ヘルメット、胴長、長靴の貸与</li> </ul> </li> <li>○淀川河川事務所 <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃ごみの処理</li> <li>ごみ袋、土嚢袋の提供</li> <li>草刈機燃料の提供</li> <li>草刈機刃の提供</li> </ul> </li> </ul>
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施計画の立案 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日、内容の検討</li> </ul> </li> <li>○参加の案内 <ul style="list-style-type: none"> <li>ねや川水辺クラブ、摂南大学、外国人研修期間との連絡調整による</li> </ul> </li> <li>○必要物品の準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>淀川河川事務所、寝屋川市、ねや川水辺クラブから各種貸与、提供</li> </ul> </li> <li>○関係機関との調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>淀川河川事務所、ねや川水辺クラブ、摂南大学、外国人研修期間との調整による</li> </ul> </li> <li>○活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>開会挨拶</li> <li>作業の説明</li> <li>作業指導、指示（刈る草の選定と指示など）</li> <li>進行管理</li> <li>実際の作業（草刈、漂着ごみの清掃、刈草の搬出）</li> </ul> </li> </ul>


## 6.3 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし


## 7. 上田レンジャー・淀川まるごと体験会・平成 22 年 7 月 25 日(日)

### 7.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	淀川まるごと体験会・外来種除去クリーン大作戦		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 上田レンジャー	
開催日時	平成 21 年 7 月 25 日(日) 9:00~16:00		
参加人数	参加総数	96 名	
	一般参加者	44 名	大人 18 名 子供 26 名
	河川レンジャー	4 名	上田 R、立川 R、中川 R、辻川 R
	協力スタッフ	45 名	(ねや川水辺クラブ、摂南大学等)
	大阪府 事務局	1 名 2 名	
スケジュール	<p>8:00 スタッフ集合 準備、ミーティング</p> <p>9:00 たいけん会参加者集合</p> <p>9:15 上田レンジャーより挨拶と淀川の舟運についてのお話 参加者と共に現地(砂州)の清掃 アシ笛作り、かべ掛け作り・縄はしご・ターザン遊びなど 土のう体験</p> <p>12:00 お昼</p> <p>13:00 船乗り体験・魚取り・カヌー体験・投網実演 参加者が採った、魚や貝などで水生生物の講師による解説、説明 ワンドから河川敷へ移動</p> <p>16:00 終わりの挨拶後、現地解散一部の方はマイクロバスにて寝屋川市 役所で解散 スタッフ後片付け</p>		
実施場所 庭窪浄水場取水口周辺			

## 7.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○摂南大学 スタッフ協力</li> <li>○ねや川水辺クラブ スタッフ協力 必要物品の貸与</li> <li>○淀川河川事務所 必要物品の貸与</li> </ul>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>活動場所：点野流域センター、点野砂州、点野船着場、点野ワンド  活動内容：子供たちが水辺で、船乗り体験と魚とりとその説明会、ヨシ工作、水辺・植物・昆虫など自然探索、ターザン遊び、河川クリーンアップ、などの遊びを通じて淀川の自然・文化・歴史を学びながら淀川を体感するデイキャンプの実施。</p>

### 7.3 活動状況



上田 R による行事の説明と開会式



集合場所周辺を清掃



ヨシ笛作り



かべ掛け作り



土のう体験



E ボートに乗る前に淀川の歴史や文化の説明



船乗り体験中(点野ワンドへ)



ワンド到着後、魚とり





参加者のみなさんが採取した魚、貝などの外来植物について講師による解説



立川レンジャーより貝類や藻の説明



点野ワンドの清掃



閉会式

## 7.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	<p>・暑さのため気分が悪くなった人1名(日ごろから弱いという)、かなり悪くなった人1名(日頃から水はあまり飲まないという)たちの措置</p> <p>日陰で休み頭を冷やしていたので冷やすための氷とスポーツドリンクを渡し、ご主人に経過を見ていただいた。本人は「大丈夫です、良くなるんです」とのことであった。</p> <p>重かった人はスタッフ市職員で、後日報告があつた。目頃から水や水分を食事時も含めてほとんど飲まない人で、「この日もいつもの対応をしてしまった」とのことであつた。「公用車で帰庁後、家に属ってから40度の熱と震え、目まいがしたとのこと、意識はハッキリしていたので、医者には行かず、シャワーで体を冷やし、その後に、水分補給しながらお湯の風呂に入って体を休めた。朝になったら正常に戻っていた」とのことであつた。</p> <p>参加者には「熱中症対策で飲み物を持ってくるように」アナウンスはしてあつたが、当日の確認と、起こってからの対処法もイメージしておく必要を感じた。</p> <p>・子供の体調が朝から思わしくなかったが参加していた家族連れがあつた。ヨシ工作中に戻したが、その後、引き続き元気に工作に参加していた。開始前の確認をしていなかったが大事に至らなくホツとした。開始前確認をして、スタッフ・保護者に注意を払っていただくという対応ができなかった。</p> <p>・毛虫と思われる事象あり。服にチクチクするものが付き、帰ってから服を洗濯した母親もチクチクしたとのこと。問い合わせがあつたので事務局で対処法を教える。「来年もよろしく」とのこと。</p> <p>・なお、病院・消防署には事前にイベントの内容と救急対応を要請していた(怪我・水難・熱中症・マムシの血清準備と蜂刺されへの搬送と処置・治療)しかし、結果として発生してしまったのは反省事項であり、現地での体制の強化を図っていく。</p> <p>・丸木舟で遊ぶときは沈しやすいので、注意を喚起する。</p>



## 8. 上田レンジャー・水辺の発信拠点づくりパートⅣ・平成22年9月11日(土)

### 8.1 実施状況

<テーマ：子どもたちに淀川を知ってもらおう学習拠点となるフィールドづくり>

テーマ	子どもが安全に遊び、学べる水辺の発信拠点づくりパートⅣ		
担当	枚方出張所管内	上田レンジャー	
開催日時	平成22年9月11日(土) 8:30~15:00 (取材時間含む)		
参加人数	参加総数	29名	
	参加者	16名	(ねやがわ水辺クラブ有志)
河川レンジャー	1名		
協力スタッフ	6名		
取材スタッフ	5名		
運営事務局	1名		
スケジュール	8:30	スタッフ集合(点野流域センター) ・物品準備	
	9:00	参加者集合	
	9:10	淀川について、及び河川レンジャー含む市民参加の取り組みの必要性の理解(お話)	
	10:00	点野砂州へ移動	
	10:15	作業準備・説明の後、各グループに分かれて外来種の草刈り、枯れ枝の収集作業	
	11:35	作業終了、物品片付け	
	11:40	参加者解散 ・スタッフは点野流域センターに戻り物品の片付け	
	12:10	スタッフ解散 ・上田レンジャーは取材対応	
	13:30	取材対応終了	
実施場所			

## 8.2 事前活動

各種資料	特になし
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ねや川水辺クラブ スタッフ協力 必要物品の貸与</li> <li>○淀川河川事務所 必要物品の貸与</li> </ul>
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・点野地区における河川レンジャー活動のレクチャー（研修生対象・点野流域センター）</li> <li>・外来植物等（アレチウリ、マメアサガオ類、コセンダングサ、カナムグラ）の除去および草刈り（点野砂州）</li> <li>・前回除伐枝等の処分（ 〃 ）</li> <li>2・季刊誌「川と水」インタビュー取材と撮影（点野砂州・流域センター）</li> </ul>

### 8.3 活動状況



流域センター2階にて淀川について、および河川レンジャー含む市民参加の必要性の理解（お話）



点野砂州にて外来植物の現状と作業内容の説明



使用する刈り払い機の指導



作業の様子（手作業にて）



作業の様子（刈り払い機にて）



作業の様子（枯れ枝の収集）

#### 8.4 意見・課題

参加者からの意見	特になし
今後の課題	特になし

## チガヤ実験経過

日 時 平成22年3月6日（土）、雨

場 所 淀川点野砂州

参加者 寝屋川水辺クラブ5名、摂南大学石田ゼミ・同エコシビル部（9名）、  
河川レンジャー、河川財団1名 計16名

目 的 河川レンジャー活動で行っている点野砂州での外来種駆除による「子供が遊び学べる発信拠点創り」の一環として、チガヤによる駆逐の方法を試験する。

（主要な外来種、カラシナ、ネズミムギ、セイタカアワダチソウ、アレチウリ、ブタクサ、マメアサガオ、ホシアサガオ、アメリカアサガオ、コセンダングサ、ナガバギンギシ、カナムグラ（在来陸生種））

方 法 ・発信拠点創りを進めている点野砂州で微高地を選定し、3×5mの試験地を4箇所設定する。

- ・各試験地を1×5mの3区画に分割し、刈払機や鎌による草刈と根の刈り取りを行う。
- ・それぞれの区画にチガヤマット（1×5m）1巻き、チガヤ苗（親指大2cmΦ深さ5cmの根を持つポット苗）105株を植え付けた。あと一区画はチガヤ種撒布区画とし5月実施予定

## 今後の調査

- ・1年目はマット、苗、種それぞれチガヤの定着状況を調査する（回りを草刈りする試験地と草刈しない試験地の成長の比較をする。）
- ・2年目以降、チガヤの拡がりを促進する草刈を回数などの条件を変えて実施するなどして拡がりなど生育状況を調査する。

4月17日（土）

- ・今年3月に植えたチガヤ実験地（4箇所）周辺（1メートル）の除草、
- ・ポット苗植え付け区画の草刈（チガヤ共）
- ・砂州全般のセイヨウカラシナの引き抜き

これまでの成果が表れて、今年は砂州全般で15株くらいの発芽・開花にとど

まった

- ・ネズミムギの丈の長い部分の刈払い

埋没種子の発芽促進のため

4月18日（日）

植生の経年変化など今後の拠点づくりの下資料にするため、砂州に自生する植物の写真を撮る（4月中旬分）。

4月23日（金）

チガヤ実験地の点検、点野砂州植生調査

4月30日（金）

植生調査、実験地の点検

5月1日

- ・ネズミムギ、イヌムギ、ナガバギシギシ、セイタカアワダチソウなど前回4月17日の刈り残し部分の除去（カラスノエンドウも一部刈り取り）
- ・セリ、カキドオシ、ヘビイチゴ、イラクサ、など在来種が優先する場所では、ムギ類やナガバギシギシなどを選択して刈り取った。
- ・ネズミムギの刈り取りを始めて以降、毎年在来種などの量が増えてきているようだ。

5月27日（木）

P1、2、4実験箇所での刈払い、P3は放置箇所とする。

マット区、苗区（種子未散布区間含む）の植生種調査（優先種）。後、刈られたチガヤ（マット、ポット苗）が他の草より成長速度が速ければ、堤防管理などに活用可。

**P1**

マット区 チガヤ成長悪し

競合優先種 ヨモギ、



その他 ナガバギシギシ、トゲチシャ、カタバミ

ポット苗区 種子散布予定区 大半はダメか？

優先種 イヌムギ（40%）、ヨモギ30%、カキドオシ30%

その他 ヘビイチゴ、キツネノボタン、

**P 2**

マット区 チガヤ根付き

競合優先種 コセンダングサ、カキドオシ、

他に カモジグサ、アレチウリ

ポット苗区 種子散布予定区（チガヤの成長悪く芽だし診るとのこと）、

優先種 ネズミムギ（60%）カキドオシ（30%）

他に、 トゲチシャ、アレチウリ、

**P 3**

マット区 チガヤ根付き、

競合優先種 カナムグラ、

他に ムラサキカタバミ、マツバウンラン

ポット苗区、種子散布予定区、 ポット苗の芽だし株あり

優先種 コセンダングサ、ネズミホソムギ、チドメグサ、

他に シロザ、ヨモギ、ヘビイチゴ、セリ、イシミカワ

**P 4**

5月23日（日に）冠水している

マット区 チガヤ根付き

競合優先種ヨモギ、他にイヌビユ、ナンバンカラムシ、セリ、イシミカワ  
など

ポット苗区、種子散布予定区

セイタカアワダチソウ、アレチウリ、アシ、ヤマキスゲ、セイヨウカラム  
シ、オオスズメノカタビラ

6月12日（土）

1、 チガヤ植え付け実験との調査（写真、生育状況調査）

5月27日に全面刈取りしたN01、2、4ともマット区画は生育良好  
で、同時に刈取った他の草より生育状況は優先している（ c m）

無刈取りの N03 のマット区画も順調で他の草と競争し生育している

ただし、他の草の方が体高が幾分高い (                      c m)、

## 2、 外来種 (ネズミムギなど) の刈払機による砂州の草刈り

鎌による草刈り、草抜き

米  昨年と比べて在来種が増えている。ネズミムギの群落は相変わらずだがその密度が低くなり、以前のような隙間無く生えるということはなくなって、集団と集団の間に、他の群落が新しく見受けられる (カキドオシがもっとも多い)

米  言葉が通じない外国人研修生が復元した在来種の群落を刈ってしまった。スタッフの配置に要注意

6月20日 (日)

- ・ チガヤ実験区のチガヤの成長具合の測定
  - 草丈 (地上部分を伸ばした全長) の測定と
  - 実際の地面からの高さ (群落の平均) の測定
  - マット区画はモザイク的に成長、ポット苗はほとんど確認できず

草丈 (地上部分伸全長    c m)    、群落の高さ (地面から    c m)

N01 (刈取区) 35 ~ 45                      25 ~ 35

N02 (刈取区) 40 ~ 60                      25

N03 (放置区) 50 ~ 90                      65 ?

N04 (刈取区) 30 ~ 50                      25

- ・ アレチウリの引き抜き
  - 200株 (10 c m ~ 120 c m、最多帯 15 c m ~ 40 c m)

7月1日

- ・ 点野砂州チガヤの生育状況調査 (計測のみ・写真なし (写真7/4))
  - マット区画での生育のみ確認できた
  - 全区画で最初に優先した場所でのみ成育している。

草丈(地上部分伸全長 cm) 、群落の高さ(地面から cm)

N01 (刈取区)	50～60	30～40
N02 (刈取区)	60～80	40～50
N03 (放置区)	70～90	40～50
N04 (刈取区)	60～70	40～50

アシ群落の縁にイヌゴマ

7月9日(金)

- ・チガヤ植栽実験地の種蒔準備の草刈(種まき区、実験地周り)

7月17日(土)

- ・チガヤ植栽実験のうち種蒔き区画に蒔種。今年は茅の生育が遅く、種の入手が遅れた。区画の草を刈り直播する。

8月15日(日)

- ・チガヤ各実験区の2回目の全面草刈りを行なう。
- ・チガヤとそれ以外に生育している草を一斉に刈って、その後チガヤの生育が早ければ、チガヤが今後徐々に優先してくる可能性を検証するため。

※1週間後の観察では、チガヤが15センチくらい伸びていて、他の草はまったく伸びていなかった

・他の草の状況

- ・N01～N04名の区画のうち、N04が一番チガヤの個体数が多い。
- ・N02.3はコセンダングサが大きく育っていてその中に埋もれている。
- ・いずれの区画も、丸ごと体験会で区画外を刈払いした後に繁茂し優先しているマメアサガオ類やアレチウリはほとんど育っていないが、区画外から区画内にツルで進入していることが分かった。
- ・いずれの実験区もマット区画のみのチガヤが生育していて、ポットおよび先月に蒔いた種子区画も発芽していないようだ。

8月30日(月)

- ・チガヤ実験区草刈後2週間目の実験区調査

チガヤが20センチまで伸長している。他の草は成長が遅い。

10月上旬に中に3回目の草刈りを予定したが雨で延期

## 9. 立川レンジャー・点野わんど外来植物除去・平成22年6月19日(土)

### 9.1 実施状況

<テーマ:>点野わんど外来植物除去作業

テーマ	点野わんど外来植物除去作業		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 立川レンジャー	
開催日時	平成22年6月19日(土) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	72名	
	一般参加者	59名	一般参加者、摂南大学工学部、寝屋川市リーダーズセミナー中高生クラブ
	河川レンジャー	1名	立川 R
	講師	1名	大阪府水生生物センター
	スタッフ	10名	ねやがわ水辺クラブ、枚方ケーブルTV
講師	平松和也氏	(大阪府水生生物センター主任研究員)	
スケジュール	9:30	スタッフ集合、参加者受付	
	10:00	開会、立川レンジャー挨拶、スケジュール等説明 現地へ移動	
	10:20	大阪府水生生物センター平松氏挨拶、外来種の解説	
	10:40	ミズヒマワリ、ナガエツルノゲイトウの実物観察 レンジャーから作業上の諸注意、作業開始	
	12:10	作業終了、閉会挨拶	
実施場所	 <p>The map shows the location of the activity. It features a river area with a green field. A red circle marks the 'Point Nodowa' (点野わんど) area. Two red rectangles indicate the 'Invasive Plant Removal' (外来植物除去) sites. Other landmarks include 'Kobayashi Bridge' (枚方大橋), 'River 2' (リバージュ2), 'Mitsuhama' (水辺), 'Nagatsuru' (ナガエツル), and 'TLC' (TLC). The map also shows a road and a station area.</p>		



## 9.2 事前活動

各種資料	国土交通省淀川河川事務所「淀川のワンドに行ってみよう」
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・淀川河川事務所 淀川の資料、回収袋の提供</li><li>・大阪府水生生物センター 事前広報活動と講師派遣</li><li>・寝屋川市 広報ねやがわへの案内記事掲載 ボランティア車両の貸与</li></ul>
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・実施計画の立案</li><li>・参加の案内</li><li>・作業用具の準備</li><li>・参加者の受付</li><li>・開会の挨拶、進行、参加者誘導</li><li>・講師補助</li><li>・外来植物の説明</li><li>・外来植物の除去作業</li><li>・外来植物の袋詰めと運搬作業</li><li>・閉会の挨拶</li></ul>

### 9.3 活動状況



受付太間公園のようす



会場設営準備



枚方ケーブル TV の撮影クルー



大阪府水生生物センター平松氏の挨拶と  
外来植物の解説



ミズヒマワリの実物観察



レンジャーから作業上の注意



ミズヒマワリの繁茂・作業前のようす



水中での除去作業





陸上での水切りと袋詰め作業



袋に入れた外来植物の運搬作業



ミズヒマワリの除去後のようす



わんど西側での除去作業



ナガエツルノゲイトウの根こそぎ除去作業



ブルーギルの捕獲



回収後の整理作業



作業後の集合写真


#### 9.4 意見・課題

参加者からの意見	暑かった。 作業量が多くて疲れた。半日でよかった。 虫が多くて嫌だった。 水辺に入って親しめた。 自然があつてよかった。 胴長での作業は暑かった。
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 今回 72 名の多くの参加者が得られたのは、大阪府水生生物センター、摂南大学理工学部都市環境工学科・生命科学科、寝屋川市教育委員会の協力があつたためであるが、反面、河川レンジャー活動の独自性が少し足りなかつたように進められた。(今年は秋に名古屋で生物多様性の会議が予定されており、この関係から大阪府水生生物センターが最初から前面に出て実施された。次回は河川レンジャーを全面に出すべく進めなければならない)</li><li>2. 当初予定していたよりも多くの参加者があり、冊子、回収袋とも数が足りなかつた。できるだけ事前に準備したい。</li><li>3. 除去した外来生物は 130 袋の多さであつた。ほとんどの袋に水が入つていたため、運搬に苦労した。今後はすぐ水が抜けるようにしたい。</li></ol>

## 10.立川レンジャー・点野野草地区・砂州植生観察会・平成22年9月26日(日)

### 10.1実施状況

<テーマ:>点野野草地区・砂州植生観察会

テーマ	点野野草地区・砂州植生観察会		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 立川レンジャー	
開催日時	平成22年9月26日(日) 10:00~12:00		
参加人数	参加総数	15名	
	参加者	7名	一般参加者
	講師	1名	寝屋川市自然を学ぶ会 副会長 本多政雄氏
	河川レンジャー	1名	立川 R
	スタッフ	5名	ねやがわ水辺クラブ
	運営事務局	1名	(財)河川環境管理財団
スケジュール	9:30	スタッフ集合、参加者受付	
	10:00	開会、立川レンジャー挨拶、スケジュール等説明 ・現地へ移動 ・移動しながら観察	
	10:30	講師と合流 ・講師紹介 ・講師から観察場所の特徴 他、観察に当たっての説明 点野野草地区、同砂州で観察	
	12:10	観察終了 ・講師によるまとめ	
	12:15	終了、閉会挨拶	
実施場所	 <p>The map shows the location of the observation site in Tachikawa City. The collection site is marked with a red circle at Tachikawa River Park (集合場所: 淀川河川公園 太閤地区 駐車場入り口付近). The activity site is marked with a red circle at Tennoyama Grassland (活動場所: 点野野草地区: 点野砂州一帯). The map also shows the meeting point for the instructor (講師合流場所: マパーシユ).</p>		



10.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="text-align: center;">  <p>配布資料</p>  <p>講師作成資料</p> </div>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 淀川河川事務所 淀川の資料</li> <li>・ 寝屋川市 広報ねやがわへの案内記事掲載、ボランティア車両の貸与</li> </ul>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画の立案</li> <li>・ 参加の案内</li> <li>・ 用具の準備</li> <li>・ 参加者の受付</li> <li>・ 開会の挨拶、進行、参加者誘導</li> <li>・ 講師補助</li> <li>・ 閉会挨拶</li> </ul>

### 10.3 活動状況



集合（淀川河川公園 太間地区駐車場入り口付近）



現地へ移動しながら観察



現地へ移動しながら観察



講師と合流。観察に当たって観察場所の特徴などについての説明



観察の様子(メドハギについて)[野草地区]



観察の様子 [野草地区]



観察の様子 (ヨシ(左)とセイタカヨシ(右)について [野草地区])



観察の様子 (センダン) [点野砂州]



### 10.3 活動状況



観察の様子（センダンの説明）[点野砂州]



観察の様子 [点野砂州]



観察の様子(クズの蔓で縄跳び)[点野砂州]



観察の様子（ムクノキの説明）[点野砂州]



観察の様子（かつて行われた淀川改修についての説明）[点野砂州]



まとめ

#### 10.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>(家族参加の感想) 毎回参加しているが、植生はその時により違う。特に今年は夏が猛暑であったので、植生は違っていた。子供たちにも同じ場所でも時によって違うことを、このような機会を通じて教えたい。</p> <p>(子供の感想) 天気が良くてよかった。 おもしろかった。</p> <p>(大人の感想) 草の名前など、何も分からなかったが、詳細な説明でよく分かった。(ほとんどは、すぐに忘れてしまうと思う) (講師から説明のあった種類は42種であった)</p> <p>キジの声が聞けた。 アサギマダラを初めて見、感激した。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・参加者をもう少し多く集めたい。(PR不足であろう)</li><li>・支援機関から適切な資料の入手をしたい。(予算の関係で難しいかもしれないが)</li></ul>

# 11. 荘司レンジャー・自然観察会と樟葉ワンド見学・平成 22 年 5 月 30 日(日)


## 11.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	淀川の初夏自然観察会と樟葉ワンド見学		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー荘司レンジャー	
開催日時	平成 22 年 5 月 30 日 (日) 10:00~15:00		
参加人数	参加総数	22 名	
	一般参加者	18 名	
	河川レンジャー	2 名	荘司、瀬野レンジャー
	講師	1 名	
	協力スタッフ 運営事務局	1 名 1 名	
講 師	高石良子氏 荘司氏	(日本野鳥の会会員) (河川レンジャー)	
スケジュール	10:06	牧野駅前でレンジャーの開会あいさつ	
	10:48	センダンの木確認	
	10:55	牧野ワンドの確認	
	11:00	牧野ワンドでの集合写真	
	11:47	植物観察の解説	
	12:06	カタツムリを採捕	
	12:38	何度も姿を現したホオジロ	
	13:41	ハルジオン解説	
	14:19	レンジャーによるくずはワンドの解説	
	14:32	アンケートコメント記入	
	14:28	ワンドのクリーンアップ	
	14:40	講師による鳥合わせ	
	14:39	閉会のあいさつ	
	15:08	回収されたゴミ袋	
実施場所			



## 11.2 事前活動

<p>各種資料 (当日配布資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川ミニ講座資料(荘司作成)別紙資料②</li> <li>・淀川河川レンジャーNews</li> <li>・一野鳥及び植物観察資料</li> </ul>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>*当初予定の5月23日(日)が前日の天気予報で降水確率が90%となりまた雨雲の動きより、急遽前日に中止決定をしてこの日に順延実施した。</p> <p>(当日スケジュール)</p> <p>9時…スタッフ集合して準備打ち合わせ</p> <p>*特別に参加者中から米田さん、古賀さんが協力してくれた。</p> <p>9時45分より受付開始</p> <p>10時開会挨拶、連絡事項、安全についてのお願いとレンジャー活動紹介 本日のスケジュール説明及びスタッフ紹介、軽い準備体操実施</p> <p>10時15分：スタート</p> <p>10時30分：淀川本流堤防にて淀川の説明(ミニ講座①)植物観察・野鳥観察</p> <p>11時：牧野ワンドにて説明</p> <p>11時40分：樋の上ワンドで昼食淀川の説明(ミニ講座②)</p> <p>13時30分：楠葉ワンド到着「楠葉ワンドの歴史と意義について」説明(ミニ講座③)</p> <p>14時45分～15時：2号ワンド周辺ゴミ拾い</p> <p>15時：一口感想メモ提出お願い～回収 閉会式と解散</p> <p>15時15分～：京阪樟葉駅へ誘導</p> <p>(当日実施した内容について)</p> <p>淀川ミニ講座3回実施(各約15分)・・・荘司R実施</p> <p>①淀川の風景現状や歴史の変遷について</p> <p>②淀川の今・昔</p> <p>③淀川の「ワンド」について及び「楠葉ワンド」の変遷について</p> <p>植物観察…荘司実施</p> <p>樹木…センダン、ヤマグラ・トウネズミモチ、アキニレ、アカメガシワ、イボタノキなど</p> <p>草本…ヒナキキョウソウ、メドハギ、ニワゼキショウ、ナヨクサフジ、オヘビイチゴ、クサノオウ、マツバウンラン、ユウゲショウなど</p> <p>野鳥観察…高石講師</p> <p>・当日観察した野鳥は</p> <p>スズメ・ムクドリ・オオヨシキリ・ツバメ・モズ・キジバト・ヒバリ・ウグイス・セツ、カ・ハシボソガラス・アオサギ・ヒヨドリ・コジュケイ・カワセミ・ダイサギ・シジュウカラ・キジ・コサギ・セグロセキレイ・トビ・カワウ・カルガモ・ホオジロ計23種でした。</p>

### 11.3 活動状況



10:06 牧野駅前でレンジャーの開会あいさつ



10:48 センダンの木確認



10:55 牧野ワンドの確認



11:00 牧野ワンドでの集合写真



11:47 植物観察の解説



12:06 カタツムリを採捕



何度も姿を現したホオジロ



13:41 ハルジオン解説





14:19 レンジャーによるくずはワンドの解説



14:32 アンケートコメント記入



14:28 ワンドのクリーンアップ



14:40 講師による鳥合わせ



14:39 閉会のあいさつ



15:08 回収されたゴミ袋

#### 11.4 意見・課題

参加者からの意見	終了に際して参加の皆様方に一口感想メモを書いていただいたところ概ね良かったとの感想をいただきほっとしました。
今後の課題	<p>今回は年初での計画の本番予定5月23日(日)の実施が困難となり急遽順延実施を呼びかけ実施した。従いまして講師の方や参加予定者の方の都合にも大きな支障が生じ、実施が危ぶまれましたがちょっと無理をして何とか実施できた。従いまして参加者もかなり少なくなりましたが皆さんの協力で何とか実施できました。</p> <p>今回も参加者一同協力的に気持ちよく最後までお付き合いいただき、無事に終了できました。講師及び多々の協カスタッフに支えていただき本当に助かりました。</p>

## 12. 瀬野レンジャー・淀川舟運見学会・平成 22 年 4 月 8 日(木)


### 12.1 実施状況

<テーマ:淀川の船旅を体験 枚方～八軒家浜>

テーマ	淀川舟運見学会		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 瀬野レンジャー	
開催日時	平成 22 年 4 月 8 日(木) 11:45～16:30		
参加人数	参加総数	42 名	
	一般参加者 河川レンジャー 講師 スタッフ 運営事務局	39 名 1 名 2 名 5 名 1 名	淀川自然クラブ会員ほか 瀬野レンジャー 海運会社船長ほか
講師	本多 政雄氏 平尾 賢二氏	(ねや川水辺クラブ顧問、運営会議代表) (枚方管内運営会議委員)	
スケジュール	<p>11:45 枚方公園駅でスタッフ集合、打ち合わせ、参加者受付開始</p> <p>12:13 瀬野レンジャーによる開会の挨拶</p> <p>12:15 出発 西見附と明治 18 年洪水碑の見学</p> <p>12:25 中央流域センター 多目的ホールに到着</p> <p>12:30 マキノ氏挨拶(淀川自然クラブ)</p> <p>12:32 瀬野レンジャーによる講師紹介、乗船の際の注意事項、資料説明</p> <p>12:37 本多氏による淀川舟運の歴史、淀川の自然講座</p> <p>12:50 瀬野レンジャーによる淀川講座</p> <p>13:30 トイレ休憩の後、枚方乗船場へ出発</p> <p>13:35 平尾氏と合流・打合せ 屋形舟乗船開始</p> <p>13:50 出発</p> <p>平尾氏・本多氏による解説。三十石舟舟歌を聴きながら川下り</p> <p>16:00 一口メモ記入、アサダ氏挨拶(淀川自然クラブ)</p> <p>16:25 八軒家浜に到着</p> <p>16:30 瀬野レンジャー・マキノ氏による閉会の挨拶、解散</p>		
実施場所			



## 12.2 事前活動

<p>各種資料</p> <p>淀川利用マップ          淀川100年を振り返って          淀川の関連施設について          淀川大堰          淀川の自然</p>	 <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○淀川自然クラブ              講師・スタッフ協力              備品の貸与</li> <li>○淀川河川事務所              必要物品の貸与              必要資料の提供</li> </ul>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施計画の立案              実施日・実施内容の検討              現地下見</li> <li>○参加の案内              チラシの配布              ホームページ掲載</li> <li>○必要物品の準備              関係機関、協力者への依頼・調整</li> <li>○関係機関との調整              スタッフ依頼、調整              備品の借用以来              各種打ち合わせ</li> <li>○活動の実施              開会、閉会の挨拶              司会進行              観察の指導・解説              参加者との交流              意見・感想のとりまとめ</li> <li>○見学会のポイント              淀川の自然および関連する河川の施設等を説明して河川から見た淀川を理解して頂く。              河川を淀川から見て見る。淀川の各地区の特徴を把握する。              毛馬の閘門の働きや排水機場を理解する。              淀川の自然（ワンド、タマリ、樹木、野鳥等）川の流れを理解する。</li> <li>○留意した事項              淀川改良工事の内容を説明して明治43年からの100年について説明するとともに21年度に制定された淀川整備計画の概要を説明して淀川の課題を理解して戴くことを重視した。</li> </ul>

### 12.3 活動状況



枚方公園駅に集合  
瀬野レンジャーによる開会の挨拶



明治18年淀川洪水記念碑の見学



中央流域センター多目的ホールに到着



本多講師による淀川の舟運・自然についての講座



瀬野レンジャーによる淀川講座



枚方乗船場風景



参加者乗船開始



乗船前の打合せ



平尾講師による淀川の話しを聞きながら川下り



船から見た淀川の風景(1)点野ワンド  
本多講師の解説を交えながら淀川の自然観察



船から見た淀川の景色(2)淀川大堰



毛馬閘門



淀川と大川の水位差を調節する為に門が閉じられる様子を閘室から見学



瀬野レンジャーによる一口メモの案内と挨拶



水陸両用車



八軒家浜到着後閉会



## 12.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言うことなし。案内された講師方の情熱、天気、大阪の歴史、淀川の流れ・春の陽、川鳥加えて堂島橋まで、忘れられない一日になりました。</li> <li>● 川側から見た景色がまた違った感じで樹木や鳥たちも見ることで新鮮な感じでとても良かったです。また是非参加して見たいです。</li> <li>● 大変良かった。講義もすばらしい。大川の桜も絶景であった。淀川自然クラブの大いなる発展を！人生一度の洗濯であった。</li> <li>● 淀川で船を乗るのは初めての体験。毛馬の閘門はじめ数々の新しい発見があった。淀川について随分豊富になった。いつも堤防から眺める景色とは正反対の景色も楽しめてよかった。天気よく桜も満開で恵まれた川くんだりであった。</li> <li>● 天候にも恵まれ思いもかけずに良い思いでができました。毛馬の閘門の体験も貴重でした。今一度秋の体験もしたいと思います。ありがとうございました。</li> <li>● 大阪に住んでいて淀川のことあまり知らなかったと思います。意外に自然が残っているところもあり、大切にしなければ感じました。</li> <li>● 60何年で初めての体験を毛馬の閘門を通過して感激でした。</li> <li>● 天気最高で波少なく楽しく船旅ができて大変良かったです。ありがとうございました。</li> <li>● 今日は大変いい体験をさせていただき感動しています。途中適ったところ実家も現住所も常に淀川のそばで生活そのもの。ただし川側から川を見たことがなかったまれな体験に感謝です。いろいろなご説明本当にありがとうございました。</li> <li>● とてもいい企画でした。目線が違った別世界でした。ミニスエズ運河は頭では分かっていたのですが二度とできない経験でした。説明も面白いのですが少し静かな時間もあつたら良かったと思います。瀬野さんありがとうございました。</li> <li>● 毛馬の閘門、大川がすばらしかった。枚方、寝屋川、大阪の川からの眺めは日ごろできない経験でした。</li> <li>● 視線を変えると見るものが全く違って見れることに感激しました。また参加したいです。唯すこしは静かな時間が欲しいです。</li> <li>● 期待していた船くんだり満足です。</li> <li>● 毛馬の閘門の初めての体験に寄せて戴きました。良い体験でした。桜も見事でした。解説、舟歌ありがとうございました。</li> <li>● 淀川の船くんだり、天候、季節に恵まれて申し分のない催しでした。両講師の解説も分かりやすく非常に良かったです。淀川を船から眺めることもまた異なった出会いを再発見しました。</li> <li>● 今日は花見日和でとても楽しい一日でした。船から眺める河川敷もなかなかのものでした。</li> <li>● 毛馬の閘門を通るときがとても楽しかった。桜も鳥も見えて良かった。</li> <li>● 今日は楽しい珍しい企画で面白く過ごさせて戴きました。ありがとうございました。</li> <li>● 2時間半楽しい解説つきで桜も楽しめて大変良かった。</li> <li>● 淀川舟運見学はとても楽しかったです。桜だけでなくめったに見られない毛馬の閘門の中に入ったりワンドを船から見られて勉強になりありがとうございました。</li> <li>● 船旅の平尾先生の話は楽しく毛馬の閘門は感動しました。船旅が大好きです。</li> <li>● 淀川は母なる川を実感しました。大阪、京都の文化の基である。</li> <li>● 一度乗って見たいと思っていました。良い機会をありがとうございました。</li> <li>● 初めての桜見の船旅楽しかった。閘門体験は2回目ですがやはり良かった。大感激です。又来たいです。</li> <li>● すばらしい天気でいい船旅ができました。お世話になりました瀬野さんありがとうございました。</li> <li>● 大変すばらしい企画ででした。感謝します。</li> <li>● 天候に恵まれて川風も快く楽しい船旅でした。毛馬の閘門は感激でした。</li> </ul>
-----------------	--

	<p>まるでスエズ運河のよう。行った事はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三川合流地点から出発して貰いたかったがいつもと違う視点から観察ができてよかった。</li> <li>● 天候に恵まれて楽しい川くだりでした。毛馬の閘門の通過は非常に良い体験でした。</li> <li>● 船からの桜はとてもよかったです。ゆったりとした一日でした。船のイメージが違っていました。</li> <li>● 実際に毛馬の閘門を通して水の段差があることが分かりました。</li> <li>● とてもよい企画をして下さって参加できて良かったです。淀川の歴史、水鳥植物の話等も聞かせていただきありがとうございました。桜並木もきれいかった。</li> <li>● いろいろの内容のあるお話とても勉強になりました。最高の企画でした。</li> <li>● 大満足の旅でした。ありがとうございました。</li> </ul>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 良い天候に恵まれて参加者に喜んで戴いた。講師、舟歌の同好会の方および企画された枚方文化観光協会、一本松海運の安全管理の配慮など感謝する。</li> <li>● 参加申し込みをしたところ申し込みが殺到した。淀川を船で見たい要望も多い。参加希望者の調整も大切である。参加して淀川を見つめて見る機会が大切であるが感想文から毛馬の閘門、淀川の流れ、自然（鳥、川の水、ワンド、植物）関心が強い。淀川を違った視点で見ればますます大きな事を発見することができると思う。</li> <li>● 淀川河川整備計画に示された事柄を淀川の各地区ごとの問題を整理して淀川を再発見していく活動に結びつける。</li> <li>● 船から見た感想は参加者から淀川について新たな認識をして戴いた。レンジャー活動の展開に参考にしたい。</li> </ul>

### 13. 瀬野レンジャー・くずはワンドの見学会・平成 22 年 6 月 7 日(月)


#### 13.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	くずはワンドの見学会		
担当	枚方出張所管内	瀬野レンジャー	
開催日時	平成 22 年 6 月 7 日 (月) 10:00~15:00		
参加人数	参加総数	74 名	
	一般参加者	61 名	瀬野、仁枝、中川ゆ、山口レンジャー 淀川自然クラブ
河川レンジャー	4 名		
協力スタッフ	6 名		
講師	2 名		
事務局	1 名		
講師	小川 力也 氏	淀川環境委員会 委員	
	紀平 肇 氏	淀川環境委員会 委員	
スケジュール	10:00	開会 ・瀬野レンジャーによるあいさつ ・くずはワンドの見学についての説明等 ・講師の紹介 ・スタッフ紹介 ・行事説明 ・協力団体：淀川自然クラブ事務長あいさつ	
	10:10	イタセンバラ講演会（小川講師：ppt を使って）	
	12:00	講演会終了。昼食休憩。	
	12:40	集合。くずはワンドへ移動。	
	13:10	くずはワンド見学会（紀平講師、小川講師） ・くずはワンドについて ・ビワコオオナマズについて ・ワンド見学	
	15:10	終了 ・スタッフ後片付け	
	16:00	スタッフ解散	
実施場所	 <p>活動場所：京阪くずは体育文化センター くずはワンド</p>		



## 13.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>関係機関からの支援内容          淀川河川事務所の河川環境課に見学会の協力要請          淀川環境委員会の資料提供 パソコン資料          実施場所の提供          講演会 京阪くずは文化体育センター          見学会 淀川くずはワンド(淀川河川事務所)</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p><b>事前活動</b>          各種資料 イタセンパラについて 国交省資料          イタセンパラ研究資料 小川講師のパソコン資料          事前講習 4月19日、淀川とイタセンパラの概要について          くずはワンド下見を小川講師とともに実施</p> <p><b>レンジャーの活動内容</b>          講演会見学会の企画          講師依頼          講演会会場準備          くずはゴルフ場の歩行連絡          河川環境課に連絡と環境委員会の資料提供の了解          くずは生涯学習センターに広報依頼          枚方市後援活動としての支援要請          参加者の広報 淀川自然クラブ、前回参加者に対する広報          配布資料の準備</p> <p><b>活動状況</b>          小川講師から環境委員会の活動内容の概要やイタセンパラの生態を詳しく説明して頂いた。(DVDやビデオによる説明。)          くずはワンドの特徴や生態が理解できた。          くずはワンドの将来の方向が示された。          くずはワンドの現状淀川の水の流れなど参加者に対して説明が出来た。          ビワコオオナマズの産卵場所が見学できた。          参加者に対してくずはワンドの意義イタセンパラ再生の役割など理解していただいた。</p>

### 13.3 活動状況



講演会会場受付風景



レンジャー挨拶、本活動主旨等説明



講師によるイタセンパラについての講演



くずはワンド見学へ



現地を見学しながら、参加者による質疑と講師による解説



ビワコオオナマズの生息確認地にて講師による解説

### 13.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"><li>● ビワコオオナマズの産卵場所が見れて良かった。</li><li>● こんな魚たちが淀川に適応して生きていることにびっくりした。イタセンパラが淀川関わっていること私たちとのつながり実感した。長年の研究に頭が下がりました。</li><li>● 無くなった自然を取り戻すことにファイトが沸いてきた。</li><li>● ビワコオオナマズ、イタセンパラの話が聞けてよかった。</li><li>● 河川敷公園のスポーツ施設を減らして生物多様性を考慮した環境を増やす時期に来たようだ。小川講師の話は具体的で良かった。</li><li>● 小川講師のイタセンパラの情熱に感動した。是非復活しますように。</li><li>● くずはワンドでのイタセンパラの繁殖を期待します。ワンド、生物調査の掲示板を設置してください。</li><li>● 自然を壊すと元に戻すことは大変です。淀川にイタセンパラを。</li><li>● 保護することが大切なことがわかりました。淀川という宝物を大切にしていきたい。摂津市でよど川を研究しています。過去、現在を知り淀川作りに取り組んでいきたい。</li><li>● イタセンパラにパワーポイント、映像を見せていただきよかった。</li><li>● 生物の多様性を感じた。</li><li>● 地元くずはのワンドやイタセンパラのことが知れて楽しかった。新しい目で淀川を見ることが出来た。</li><li>● 有益で興味ある話で結構でした。</li><li>● 3回目のくずはワンドですがイタセンパラが戻ってくる気がします。</li><li>● 小川講師の研究に感動した。くずはワンドを作った経過や魚がどの程度戻ってきているのか知りたい。</li><li>● 小川講師の講演は大変勉強になった。くずはワンドはきれいです。庭窪ワンドは乱れているがあきらめずに活動します。</li><li>● こんなところに自然を守る場所があることに感動しました。よくウォーキングしていますが楽しくなってきました。</li><li>● イタセンパラ、ワンドについて理解できて良かった。大変ありがとうございました。</li><li>● 小川講師のイタセンパラにかける情熱に強い感動を覚えた。</li><li>● イタセンパラの生態に興味深く聞きました。壊れた自然を復活させるのは大変なことと思う。</li><li>● イタセンパラ、ワンドの話は郷愁を感じた。取り返せない自然に寂しさを感じた。ビワコオオナマズへのロマンの話は大変勉強になった。</li><li>● 熱い思いを感じて大変有意義でした。</li><li>● イタセンパラ研究の小川講師の興味深く面白かった。淀川に自然が戻ってきますように。</li><li>● イタセンパラの生息状態が良くわかりました。</li><li>● 良かったです。大変勉強になりました。</li><li>● 今日のようなところでビワコオオナマズが現れたことは驚きです。目からウロコです。</li><li>● 堺に住んでよど川を見る機会が少ないですがこれからも自然に関心を持ってみたいです。ありがとうございました。</li><li>● 紀平講師の長い間の学びに心が打たれます。小川講師の話も楽しく皆様が喜んで折られました。</li><li>● 小川講師の話はイタセンパラにかける情熱を感じました。60年前に魚釣りをした記憶を思い出すとともに魚たちがどのように淀川ですんできたのか興味があります。淀川の近くに住んで淀川をもっと知りたいことがたくさんあります。本会が今後も続きますように祈念します。是非参加したいです。ありがとうございました。</li></ul>
----------	---

<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イタセンパラやワンドの関心が高く沢山の参加者があり今回テーマで講演会、見学会が出来たことは大変良かったと思う。</li> <li>● 環境委員の2人の講師が興味ある話は非常に喜んで聞いていただいた。</li> <li>● 環境委員会のくずはワンドについての概要も良く理解できた。現在ワンドについては調査活動中であったが整理でき次第一般市民にも公表して戴きたいと要望があった。</li> <li>● 今後の課題として市民の関心はあるので市民の参加と協力をいかにしていくか。</li> <li>● 市民の協力、参加をいかに進めるか検討する必要がある。</li> <li>● 今回は沢山の方の参加を感謝します。くずはワンドについて理解して頂く事が出来た。</li> </ul>
--------------	--

## 14. 瀬野レンジャー・牧野ワンドの自然観察会・平成 22 年 9 月 13 日(月)

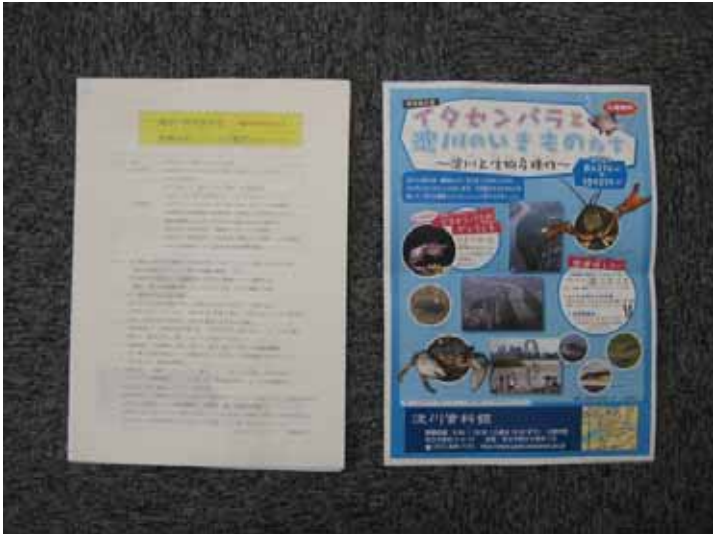
### 14.1 実施状況

<テーマ：幾島～牧野遊歩道・牧野ワンドの自然観察会>

テーマ	幾島～牧野遊歩道・牧野ワンドの自然観察会		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 瀬野レンジャー	
開催日時	平成 22 年 9 月 13 日(月) 9:30～12:30		
参加人数	参加総数	54 名	
参加人数	一般参加者	45 名	瀬野 R、荘司 R、仁枝 R、中川ゆり子 R 本多先生・三浦先生 枚方出張所三井所長 古賀氏
	河川レンジャー	4 名	
	講師	2 名	
	出張所	1 名	
	協力スタッフ	1 名	
	運営事務局	1 名	
講師	本多 政雄 氏		(ねや川水辺クラブ顧問、運営会議代表)
スケジュール	9:30	スタッフ集合 受付準備、打合せ、受付開始	
	10:00	受付終了後・移動	
	10:17	瀬野レンジャー・本多先生挨拶 主旨説明、スタッフ紹介、資料説明 本多先生の解説のもと、牧野ワンドに向けて出発 ススキやヨシ、セイバンモロコシ、などの野草から昆虫（キトンボ）の生態などの説明 生物の説明（キトンボの概要説明）	
	11:00	休憩	
	12:00	牧野水制工到着 瀬野レンジャーからワンドの概要説明・改善策の話 川に生息している魚や野鳥の説明など	
	12:30	現地解散	
実施場所			



## 14.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○淀川資料館 講師協力</li> <li>○淀川河川事務所 必要物品の貸与 必要資料の提供</li> </ul>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</li> <li>○参加の案内 チラシの配布 ホームページ掲載</li> <li>○必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</li> <li>○関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</li> <li>○活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</li> <li>○ねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秋の淀川河川敷の植物等観察会</li> <li>● 枚方地区の淀川の遊歩道自然を味わう。</li> <li>● 牧野水制工、ワンドを見学しワンドの役目を知る。</li> </ul> </li> <li>○実施結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 淀川概要、関連施設、御殿山農業水路、大阪府村野浄水場の取水口、ひょうたん池、牧野水制工、牧野ワンド。</li> <li>● 自然観察：本田講師（三浦様）の説明</li> <li>● ワンド：牧野水制工、ワンドの役目を説明（航空写真添付） 淀川上流のくずは、牧野においてワンドが増設されたその意義を説明。 天然記念物（昨年コウノトリが飛来した事、今年イタセンパラが再導入された事）の関わりを説明。</li> </ul> </li> </ul>

### 14.3 活動状況



京阪御殿山駅にて集合スタッフミーティング



河川敷に移動、講師本多先生・瀬野R自然観察会三浦さんほかの挨拶と主旨の説明



本多先生による野草の説明（ヤハズゾウ）



キトンボについての説明風景



野草の説明（ヨシとセイタカヨシの違いについて）



牧野ワンド到着・瀬野Rによるワンドの対策説明



牧野ワンドにコウノトリが来た話を交えながら、資料を照らしあわせて、詳細を説明。その流れから、質疑応答へ



現地にてその場で解散・一部スタッフは片付け

#### 14.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>○沢山の花を教えて戴き楽しかった。川にゴミが多いのには、腹ただしい。</p> <p>○本多講師の説明がわかりやすかった。</p> <p>○牧野水制工、ワンドを始めて見た。</p> <p>○ワンド復活に向けて着々と手を打たれていることは喜ばしいことでもあるが、もっとPRをされては良いと思います。</p> <p>○暑い時でもあったがざっくばらんで良かった。</p> <p>○毎月第一木曜日には、くずはから枚方まで早朝散歩しており、本日たくさんの植物を教えて戴き次回の散歩会では良いかっことができます。</p> <p>○大変きれいな自転車道を歩き河川を見学できた。風があり暑さもしのげてクズの花が大変きれいであった。</p> <p>○よく勉強が出来た。もう少し時間が欲しかった。</p> <p>○ひさしぶりの観察会を楽しく歩いてよかった。</p> <p>○本多講師の話は分かりやすく良かった。</p> <p>○本多講師の説明がとてもよかった。また次の機会にきたいです。</p> <p>○お願い 牧野ワンドの概要について表示してください。</p> <p>今まで通り過ぎて何かと思っていた草木の名前が分かりよかった。</p> <p>よく散歩しますので違った思いになりました。</p> <p>知っている名前と実物が照合できた。</p> <p>○いろいろな植物の名前、性質等勉強が出来て楽しかった。</p> <p>○ゆっくり歩いて観察できて楽しかった。</p> <p>○カラムシはいろいろな説がありますが麻となることは初耳で勉強になった。</p> <p>○楽しく学びの場を頂きました。カラムシが麻糸作りの植物であることを知り驚き有難うございました。</p> <p>○ワンドの説明がもっとして欲しかった。</p> <p>○大阪府の村野浄水場の取水口を見れて良かった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>少し涼しくなり風もあり猛暑の影響にも関わらず多数の参加して戴いた。</p> <p>淀川の河川敷の自転車道を歩きながら観察が出来てよかった。植物に関心のあ る人が多く淀川を活用されている。</p> <p>ワンドの再生、イタセンバラの再導入の明るい出来事があるが枚方の淀川は流 水域でありこれからどのようにワンドをいかに育てていくか考えさせられた。 枚方地区の自然が残っている磯島の遊歩道は安らぎを感じる。</p>

## 15. 山口レンジャー・庭窪ワンド清掃活動・平成 22 年 4 月 24 日(土)

### 15.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	庭窪ワンド清掃活動		
担当	枚方出張所管内	山口レンジャー	
開催日時	平成 22 年 4 月 24 日 (土) 10:00～12:00		
参加人数	参加総数	38 名	
	一般参加者	32 名	[参加協力団体]
	河川レンジャー	1 名	門真エコネットワーク 10 名
	協力スタッフ	3 名	大阪商業大学 10 名
	淀川河川事務所	1 名	大阪産業大学 13 名
	運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	スタッフ集合 (淀川河川公園 庭窪レストセンター) ・受付準備等、参加者受付	
	10:00	開会 ・レンジャー挨拶、河川事務所挨拶 (枚方出張所長) ・河川レンジャーについて解説 ・淀川について解説 ・活動趣旨、作業内容説明 ・作業グループ分け (5 班) ・諸注意 ・作業準備 (清掃用具等渡し)	
	9:25	清掃場所へ移動	
	9:30	清掃開始 (作業範囲を確認し、グループ毎に作業)	
	10:10	清掃終了 (ごみの種類・数量を記録シートに記入)	
	11:10	集合場所へ移動、解散	
	11:35	清掃用具片付け 終了	
実施場所	 <p>The image shows an aerial view of the outdoor area with various facilities and a red arrow pointing to the cleanup site. An inset map titled 'アクセスマップ' (Access Map) shows the location of the cleanup site (庭窪レストセンター) in the Yamato River area, near the intersection of the Yamato River and the main road. The map also shows nearby landmarks like the Yamato River, Yamato River Park, and the Yamato River Rest Center.</p>		

## 15.2 事前活動

各種資料	今回はなし
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪商業大学、大阪産業大学 スタッフ協力</li> <li>○淀川河川事務所 必要物品の貸与</li> </ul>
レンジャーの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見</li> <li>○参加の案内 参加案内の作成 配布活動（配布先…門真エコネットワーク連絡会、HP記載など）</li> <li>○必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整</li> <li>○関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼</li> <li>○活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流 アンケートの集計</li> </ul>



### 15.3 活動状況



庭窪レストセンターにて集合  
開会の挨拶



清掃箇所へ移動



清掃の様子



清掃の様子



清掃の様子 水際は特にゴミが目立つ



ゴミ調査記録シートの記入



集積されたゴミ



終わりの挨拶 現地にて解散

#### 15.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>2時間～3時間では取りきれないほどごみの量が多く、冷蔵庫のトビラなどの粗大ごみもあり大変でした。たいへんお疲れ様でした。</p> <p>ごみが大量にあったので拾っても出てきてしんどかった。</p> <p>最初に見たときは範囲的には狭いエリアに見えたけど、実際ごみ拾いをしだしたら思った以上に細かいごみが多くて驚きました。橋の下ということもあって、上から捨てられたりしたごみもあるのかなあと感じました。</p> <p>パッと見たときはごみが少ないと思いましたが、実際清掃してみると細かいごみが沢山あり時間内に拾いきれませんでした。拾ったゴミの種類も多く、なぜこんなものが?と疑問に感じたごみがあったりと、ごみについて考えさせられた一日でした。</p>
今後の課題	地元地域の人達への呼掛けを強化していきたい。

## 16. 山口レンジャー・庭窪ワンド外来種植物除去作業・平成22年6月19日(土)

### 16.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	庭窪ワンド外来種植物除去作業		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー山口レンジャー	
開催日時	平成22年6月19日(土) 9:30~13:00		
参加人数	参加総数	57名	
	一般参加者	46名	
	河川レンジャー	1名	
	講師	1名	大阪府水生生物センター
	スタッフ	8名	
	運営事務局	1名	
講師	内藤氏 氏 氏	(大阪府水生生物センター)	
スケジュール	9:49	活動団体代表のごあいさつ	
	9:57	水生生物センター内藤講師による外来植物の解説	
	10:02	レンジャーによる作業の諸注意	
	10:34	作業開始後の全景	
	10:49	作業中のようす	
	11:24	作業後に外来植物が取り除かれたようす	
	11:39	作業対象エリアの作業後のようす	
	11:39	集合写真	
	13:01	回収された外来植物ほかのゴミ	
	13:00	回収されたその他ゴミ	
実施場所			

## 16.2 事前活動

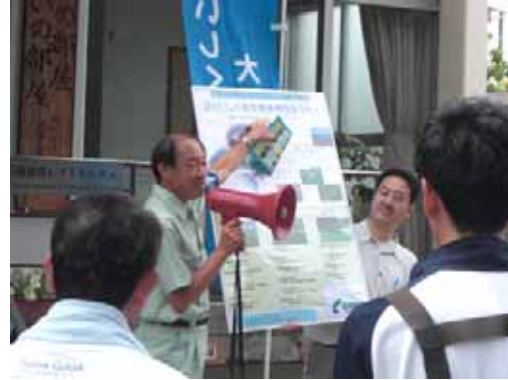
<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境省 必要資料の提供</li> <li>○大阪府水生生物センター 必要物品の貸与、必要資料の提供</li> <li>○大阪府庭窪浄水場 備蓄水</li> <li>○淀川河川事務所 必要資料の提供、必要物品の貸与</li> </ul>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見</li> <li>○参加の案内 参加案内の作成 配布活動（配布先…門真エコネットワーク連絡会、HP記載など）</li> <li>○必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整</li> <li>○関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼</li> <li>○活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流 アンケートの集計</li> </ul>



### 16.3 活動状況



9:49 活動団体代表のごあいさつ



9:57 水生生物センター内藤講師による  
外来植物の解説



10:02 レンジャーによる作業の諸注意



10:34 作業開始後の全景



10:49 作業中のようす



11:24 作業後に外来植物が取り除かれた  
ようす



11:39 作業対象エリアの作業後のよう  
す



11:39 集合写真





13:01 回収された外来植物ほかのゴミ



13:00 回収されたその他ゴミ

#### 16.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しんどかったです、楽しかったです！予想以上にごみが多いことや外来種を含め意外にも生き物がいることが分かりました。</li> <li>・人数が多かったので作業がとてはかどりました。これからもたくさんの方が参加してくれればいいのになあと思いました</li> <li>・今回初めて川の中に入り、掃除し、改めてゴミが多いことを感じました。これからも積極的に参加しようと思います。</li> <li>・清掃前と清掃後では見違えるほどキレイになっていて「キレイにした!!」という達成感がありました。</li> <li>・一面を覆い尽くしていた外来水生植物であるアズラを一掃できたので良かったと思います。今後の活動としては、ワンド周辺に密集しているミズヒマワリを一掃できれば生態系が変わるかもしれませんね。また参加したいです。早く庭窪ワンドに在来生物のアユモドキやイタセンパラがたくさん生息できる環境を作ってあげたいと思います。</li> </ul>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、COP10パートナーシップ事業に登録し、大阪府が事務局となり点野、赤川ワンドを含めた3ワンド同時開催で実施することができました。</li> <li>・単発イベントではなく、継続できるような取り組みにしたいと考えています。</li> </ul>

## 17. 山口レンジャー・庭窪ワンド生物調査&周辺清掃・平成22年9月11日(土)

### 17.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	庭窪ワンド生物調査&周辺清掃活動		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 山口レンジャー	
開催日時	平成22年9月11日(土) 9:30~12:00		
参加人数	参加総数	36名	
	参加者	30名	
	河川レンジャー	1名	
	協力スタッフ(水生生物センター)	4名	
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	準備	
	9:10	受付開始	
	9:30	山口レンジャーによる挨拶・活動説明	
	9:50	庭窪河川敷清掃開始	
	11:00	清掃終了	
	11:10	庭窪ワンド水生生物調査開始	
	11:55	庭窪ワンド水生生物調査終了	
	12:10	解散・後片付け	
実施場所			

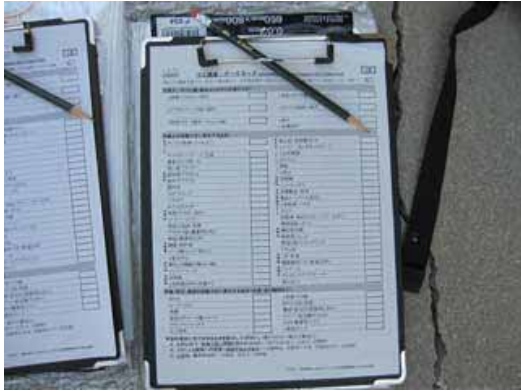
## 17.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大阪商業大学、大阪産業大学 スタッフ協力</li> <li>○ 淀川河川事務所 必要物品の貸与</li> </ul>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見</li> <li>○参加の案内 参加案内の作成 配布活動（配布先…門真エコネットワーク連絡会、HP記載など）</li> <li>○必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整</li> <li>○関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼</li> <li>○活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 参加者との交流 アンケートの集計</li> </ul>

## 17.1 活動状況



集合場所（淀川河川公園 庭窪レストセンター）



ゴミ調査・データカード

受 付



山口レンジャーによる挨拶・活動説明



清掃活動開始



清掃活動状況



清 掃 前



清 掃 後



活動状況



回収ゴミの分析調査



回収したゴミ



大阪府水生生物センター担当者の説明



地曳網による生物調査



捕獲された魚（外来種ブルーギル）



捕獲された魚（外来種ブラックバス）



山口レンジャーによる活動総括



解散・後片付け



## 17.2 意見・課題

参加者からの意見	<p>橋の下はたくさんのごみが落ちており、特に花火や割り箸等のバーベキューで使用するごみが多かった。生物調査では、予想通り特定外来生物が多く、その中でも何種類かの在来種が見つかって良かったと思います。</p> <p>毎回のごみの量には驚かされますが、今回は小さなごみが多く、量としてはいつもより少ないと感じました。生態調査では在来種がワンドに住み着いていると分かり、これからも活動を続けていく励みになりました。</p> <p>今回は河川敷の清掃ということで前回と違った視点で淀川に捨てられるごみについて考えさせられました。河川敷に捨てられたごみが増水でワンドなどに流れ込み水質悪化やごみ溜めの原因になっているのかなと思いました。最後に、班行動で他の団体の人ともかかわれたので良い経験になりました。</p>
今後の課題	地元地域の方への呼び掛けを強化したい。


## 18. 酒井・辻川・上田レンジャー・河川行政研修会・平成22年7月12日(月)

### 18.1 実施状況

<テーマ:>

テーマ	河川レンジャー研修：河川行政研修会		
担当	三出張所管内	河川レンジャー酒井・辻川・上田レンジャー	
開催日時	平成22年7月12日(月) 9:00~17:00		
参加人数	参加総数	26名	
	河川レンジャー	18名	辻川、池宮、三輪、崎谷、上田、立川、荘司、瀬野、山口、中島、酒井、中川ゆ、谷岡、坂本、中村、田子、仁枝、山村各レンジャー
	講師	1名	成宮調査課長
	河川事務所	1名	岡田係長
	運営事務局	6名	西野、早瀬、松岡、橋詰、篠平、田井中
講師	成宮氏	(淀川河川事務所調査課)	
スケジュール	9:06	酒井Rのあいさつ	
	9:06	会場全景と出席者のようす	
	9:09	上田講座研修実行委員長のあいさつ	
	9:11	講師成宮課長の紹介	
	13:12	バスで移動開始	
	13:40	牧野わんどでの説明のようす	
	13:41	参加者集合写真	
	14:18	中島R：芥川一号井堰で魚道の設置について	
	14:21	芥川全景：如是川決壊の歴史について	
	14:39	三島江切り下げ区域の全景	
	14:45	酒井R：切り下げ区域について質疑応答	
	15:23	上田R・立川R：点野わんどでの活動について	
	15:34	山口R：庭窪わんどの外来種除去について	
	16:13	成宮課長：赤川わんどの変遷について	
	16:41	毛馬出張所での休憩	
	17:00	辻川R：西中島での野犬対策水路について話の後、閉会のあいさつ	
実施場所 中央流域C会議室～ 淀川現地			

## 18.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>講師：淀川河川事務所調査課成宮課長</p>
<p>レンジャーの活動内容 (当日レジュメより)</p>	<p>9:00 1. 開講式</p> <p>9:05 2. 淀川水系河川整備計画について ①現状の課題 ②具体的な対応策 ③具体的な事業(工事) 講師 成宮 文彦さん(淀川河川事務所 調査課長)</p> <p>途中休憩15分</p> <p>11:30 3. 質疑応答</p> <p>12:00 4. 会場整理</p> <p>昼休み(12:15~13:00)</p> <p>13:00 5. 現地見学 中央流域センターをマイクロバスで出発 講師 成宮 文彦さん(淀川河川事務所 調査課長)</p> <p>ルート：中央センター→牧野水制工→芥川魚道改良→点野→直産→赤川地区ワンド整備→ →淀川大堰→西中島→阪急十三駅</p> <p>レンジャー活動紹介 ・レンジャー活動紹介(降車) 各レンジャー(中島、酒井、上田、山口、辻川) ・「淀川かわあるき」による歴史・文化紹介(車中) 酒井レンジャー</p> <p>17:00 6. 閉講式 阪急電車 十三駅解散</p>

### 18.3 活動状況



9:06 会場全景と出席者のようす



13:40 成宮課長：牧野わんどでの説明のようす



14:18 中島 R：芥川一号井堰で魚道の設置について



14:21 芥川全景：如是川決壊の歴史について



14:39 三島江切り下げ区域の全景



14:45 酒井 R：切り下げ区域について質疑応答



15:34 山口 R：庭窪わんどの外来種除去について



17:00 辻川 R：西中島での野犬対策水路について話の後、閉会のあいさつ

#### 18.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>淀川水系河川整備計画の説明を受け、淀川における河川環境、治水・防災、利水、利用、維持管理の、現状及び問題・課題並びに対応策について、レンジャーと講師の間で意見交換が行われました。</p> <p>特に治水・防災上の課題、人と川のつながり、水辺や河原の再生について意見がありました。</p>
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 今回の研修では河川整備計画の全体を把握する目的で実施したが、個別のテーマについて今後実施するかどうか。</li><li>2. 研修の成果を個々のレンジャー活動にどう活かしていくか。</li></ol>




19. 仁枝・谷岡・中島レンジャー・外来生物研修会・平成22年9月7日(火)

19.1 実施状況

<テーマ：河川レンジャー研修「外来生物研修会」>

テ ー マ	河川レンジャー研修「外来生物研修会」 全国的に課題となっている外来生物の問題。レンジャーも活動の中ですでに取り組んでいたり、今後の取組みを検討したりしている。 ・河川事務所の「地域と行政による協働」の取り組み事例から学ぶ、 （平成16年「嵐山地区水草対策研究会」を発足。） ・レンジャーの取組みを発表、課題や解決方法を紹介、考える。		
担 当	山崎、高槻出張所管内	仁枝・谷岡・中島 レンジャー	
開催日時	平成22年9月7日(火)8:30～17:00		
参加人数	参加総数	22名	
	河川レンジャー	12名	現地8名、池宮、三輪、崎谷、中川ゆり子、田子、中島、仁枝、谷岡 講義12名、上記に山本、酒井、山村、福井各レンジャー
	講師	1名	室内講義
	河川事務所 運営事務局	3名 6名	芝田監督官、日朝専門員、岡田係長 現地5名
講 師	田村くに江さん	淀川河川事務所 河川環境課 専門職	
スケジュール	8:30 8:50 9:00 9:15 9:32  11:00 14:30  17:10	活動場所は桂川、嵐山の渡月橋、一の井堰上流。 左岸の船着場付近に担当レンジャー、河川事務所、事務局集合 参加レンジャー集合 道具を車から運搬、準備（胴長、ライフジャケットを着用） 除去作業の説明、体調の確認 除去作業を開始。対象外来水草はオオカナダモ、コカナダモ。 ・地元の方々や嵯峨中学生と共同で行った。 ・作業は、外来の水草を採り、舟へ引き揚げるのが主。 ・観察 在来種クロモなどとの違い、繁茂している場所と状況、除去前後の環境の変化、魚などの生き物を観察。 除去作業を終了、回収した水草の観察、かたづけ、着替え。 移動と昼食 室内講義①田村講師 事務所の取組み、外来水草の影響と対策、 ②レンジャーの取り組み事例の紹介 中島、福井ほか。 質疑応答、意見を交換 終了、かたづけ	
実施場所	<p>午前：水草除去は、桂川、嵐山、渡月橋、一の井堰の上流</p> <p>午後の室内講義は、上流域流域センター2F 会議室（伏見出張所構内）</p> 		

## 19.2 事前活動

<p>各種資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 田村講師資料</li> <li>2. レンジャー発表資料</li> <li>3. 今後の活動チラシ</li> </ol>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所からの支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関係団体との調整</li> <li>2. 用具の貸与、運搬、講師の派遣、会場、資料の提供など</li> </ol>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レンジャー実行委員会で、研修のテーマ「外来生物」を決定。</li> <li>2. 担当レンジャーで、企画、準備、運営。</li> <li>3. 淀川河川事務所河川環境課と打合せ。</li> <li>4. 用具の用意、貸与を受ける。</li> <li>5. 報告の作成</li> </ol>

### 19.3 活動状況



8:40 嵯峨野中学校の生徒参加者



9:23 レンジャー除去作業説明、体調確認



9:32 水草の除去、回収



9:36 オオカナダモなどの観察



10:11 レンジャーと中学生の共同作業



10:18 レンジャーによる回収作業



10:12 作業中の中学校生徒と陸上から安全監視のようす



11:11 回収した藻を前に集合写真





14:52 室内講義



16:45 質疑応答

#### 19.4 意見・課題

<p>参加者からの意見 (敬称略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 池宮 有名な観光地の川に大量の水草が繁茂している事に驚いた。駆除や環境の改善への取組みの大切さを感じた。改善していくかについては非常に難しい問題があることも理解できた。総合的な取組みが重要だと感じた。</li> <li>• 崎谷 現場：参加者が多様なことが成果に加え、対外的インパクトも有り非常に意義がある事業だと思う。自身の活動にも役立つ良い機会。 講義：田村さんの話は参考になった。自然に人の手を加えすぎることが自然を変化させてしまうのでは？</li> <li>• 酒井 ジャンボタニシを食用として再認識できないか。 特定外来種がなぜそこに生息することに問題があるか、整理が必要。 多種多様な情報が入手できた。</li> <li>• 田子 長い間、桂川の生物を観察していて年々、外来生物が増加しているのを感じていました。繁殖力の強い外来種といえども生態系が安定していれば入り込むことが難しいといわれていますので河川改修においてはその点充分注意してほしいと思っています。</li> <li>• 谷岡 嵐山で水草を採りながら水の良さ、風景の美しさを堪能しました。 他のレンジャーの活動について情報交換ができたことが良かった。</li> <li>• 中島 地元の方とのお話によると、かつては二枚貝もボテジャコもたくさんいたとのこと、でした。水草を採った後、貝を探してみました。 講義ではいろいろと示唆を頂き、田村講師、皆さまに学びました。</li> </ul>
---------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川ゆり子 流れ藻を止める網の藻を採取、今取ったかと思うと流れの中に又、多くの藻が引っかかっており楽しくもあり忙しい時間であったが、休憩が疲れをとってくれました。講師やレンジャーの取組みに多くを学びました。</li> <li>・福井 嵐山の取組みを知り地元のジャンボタニシ駆除の取組みにおいても組織を作っていく必要を実感しました。レンジャー活動で、駆除だけではなく学習、遊びなど楽しいことも入れて仕切りなおしたとかがえました。 ヌートリア、木津町の鹿川に餌付けをされているそう。留意したい。</li> <li>・仁枝 机上の知識にだけでなく現地での体験はレンジャー活動にとってとても有益な研修であった。今後も現地体験型研修をより多く実施してほしい。 担当地域でもアレチウリが繁茂、住民とともに活動したいと考える。</li> <li>・山本 除去した水草の利用方法を考えてはどうか。外来魚、ジャンボタニシを食べるなどの活用は？外来種との上手な付き合い方を考えても良いのでは？在来のみだかもいることを知ったのは良かった。</li> <li>・山村 講義で外来種問題の概略が理解できた。今後に役立つと思う。 人が川に近づかないことから始まっていると思う、大いに人を近づかせること、レンジャーの役割。 草刈予算の減少は、外来種問題への対策においても認められないと思う。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンジャー研修について 活動の課題、問題となっていることを、これからもテーマにしてほしいとの声が寄せられた。</li> <li>・外来生物問題 住民とレンジャー、河川管理者で、問題意識をどう共有化し、共に取り組むか。 例えば、ヌートリアに餌付けする人もあれば、駆除したい人もいる。</li> </ul>